

# 7-1

演題	地域共生～ともに生きる
副題	

地域共生
介護ふれあい

法人名	社会福祉法人 東京武尊会
施設名	ボーナビール二本松ケアセンター

発表者名 (職種)	刈屋 洋子 介護支援専門員
共同発表者	澁屋 征樹
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	相模原市緑区二本松 2-30-39
TEL	042-772-4117
FAX	042-772-4354
メールアドレス	beaunavire-kyotaku@tokyo-busonkai.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	橋本駅より車で10分、相模原市緑区に位置し緑豊かな環境に建つ。 ボーナビールはフランス語で美しい船の意。基本理念は個人を尊重し愛のあるやさしい施設を目指す。居宅介護支援事業所、特養、ショートステイ、デイサービスあり。
---------------------------	---

## 研究の目的、PRポイント

- ・地域の方と交流を持ち、高齢者、障害者、児童等の縦割りを超えて、皆が支え、支えられる共生型の社会を目指す

## 取り組んだ課題

- ・社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながるよう、また社会資源の発掘や新たな社会資源のアイデアや萌芽の探求を目指し開催しました。

## 具体的な取り組み

- ・事前準備とし開催する前に近隣住民、各サービス事業者、包括支援センター、学校などに趣旨を説明し参加の呼びかけやアイデアを出していただいた。
- ・当施設のみならず賛同していただいた近隣住民包括支援センター、介護タクシー 福祉用具事業所、ボランティア団体、定期巡回訪問介護、看護・訪問介護事業所、ヤクルト、訪問看護事業所、小学校鼓笛隊、社会福祉協議会、近隣高校(食品科) 近隣高校吹奏楽部、居宅療養管理指導訪問薬局参加による催し物を開催。

## 活動の成果と評価

- ・「福祉のつどい」は盛況に開催され、次回は更なる世代間の交流を深めるため近隣小学校校庭を利用し開催する事となった。
- ・催し物の他に情報交換や介護に関する相談会などを通して、介護者同士(デイサービス利用者、特養利用者、認知症・寝たきり・虚弱などにより介護や介助が必要な高齢者・障害者の方々を看ているご家族)が集う場となった。  
介護方法や介護で困っていることを、ひとりで抱え込まずに、同じ悩みを抱えている方・経験した方同士で交流していただき、また、介護保険等の制度やサービスの利用、介護に関する情報などもお知らせし就職相談会も設置。デイサービス利用

者様にも催し物の飾りつけ作成を趣味活動として参加していただき、開催時飾りつけを見て作品を喜んでいただいた。

- ・足の不自由な方などの送迎は介護タクシーさんが行っていたいただき好評だった。

## 今後の課題

- ・コロナ禍の中で安全に開催する為に受付での手指消毒、体温測定の徹底や各事業所間のテーブルの配置や手伝いの人員数の制限等気をつけていきたい。
- ・定期的に近隣住民や民生員等へのヒアリングを実施し、より地域に寄り添った交流が行えるよう検討していく。